

2021年2月8日

「奨学金と高等教育に関するアンケート」結果報告

全国大学生協同組合連合会
学生委員会

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響で「学ぶことが十分にできない」「学ぶことを将来的にあきらめざるを得ない」という状況に追い込まれている大学生がいます。

また、日本では、2016年時点で、一般政府総支出に占める初等から高等教育に対する支出の割合は7.8%であり、これはOECD平均を下回っています。2010年から2016年の間に一般政府総支出は増加しているにもかかわらず、公財政教育支出は減少しています。

今回のアンケートでは大学生、院生1,200名の方からご協力いただいております。アンケート結果を公表することにより、この状況下にある大学生・院生への理解を深めていただき、今後の大学生活の向上につながることを願っています。

2. アンケートの概要

このアンケートは、全国大学生協連をはじめ、各大学生協のホームページや、生協利用者へ拡散を呼びかけて募集したWebアンケートです。調査対象は全国の学生、院生で、調査期間は2020/11/01（日）～12/13（日）です。

・調査方法 Web調査(大学生協ホームページや生協利用者へ拡散をよびかけて回答を募集)

・調査対象 全国の学生、院生

・調査期間 2020/11/01(日)～12/13(日)

・回収数 1,200回答

・アンケート結果についての注意点

※匿名性による学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性があります。

※「学生の消費生活に関する実態調査」や「保護者に聞く新入生調査」の調査方法(全国大学生協連会員生協の組合員から無作為に調査対象を抽出)と異なり、回答数の多い大学や学年があるなど、アンケート結果の代表性は明らかにできません。

3. アンケートで集めた情報

(1) 基礎情報

➤ 性別に関して

	実数	構成比
男性	503	41.9%
女性	680	56.7%
答えたくない	17	1.4%
総計	1200	100.0%

➤ 大学種別

	実数	構成比
国公立/4年制大学	902	75.2%
国公立/短期大学	15	1.3%
国公立/高等専門学校	1	0.1%
私立/4年制大学	281	23.4%
私立/短期大学	1	0.1%
私立/高等専門学校	0	0.0%
総計	1200	100.0%

➤ 学年

	実数	構成比
1年生	482	40.2%
2年生	312	26.0%
3年生	222	18.5%
4年生	140	11.7%
5年生以上	5	0.4%
大学院生	39	3.3%
総計	1200	100.0%

➤ 住まい

	実数	構成比
自宅	447	37.3%
下宿(アパート等)	665	55.4%
寮	81	6.8%
その他	7	0.6%
総計	1200	100.0%

(2) 奨学金に関して

➤ 利用しているのか

	実数	構成比
貸与型(有利子)	195	16.3%
貸与型(無利子)	213	17.8%
貸与型(有利子・無利子併用)	74	6.2%
給付型	119	9.9%
給付型・貸与型併用	86	7.2%
利用していない	496	41.3%
わからない	14	1.2%
答えたくない	3	0.3%
総計	1200	100.0%

➤ 利用目的

	実数	構成比
授業料を賄うため	513	74.7%
自分のための生活を賄うため	452	65.8%
学校(高校・大学)の先生に勧められたから	40	5.8%
親に勧められたから	235	34.2%
給付型だったから	95	13.8%
高額商品の購入や特別な支出	24	3.5%
特に用途を決めていない	23	3.3%
知らない・わからない	2	0.3%
その他	14	2.0%

➤ 貸与(給付)額

	実数	構成比
0-3万円未満	76	11.1%
3-5万円未満	228	33.2%
5-8万円未満	216	31.4%
8-10万円未満	69	10.0%
10-12万円未満	49	7.1%
12-15万円未満	21	3.1%
15万円以上	9	1.3%
わからない	19	2.8%

➤ 口座管理者

	実数	構成比
自分	446	64.9%
保護者	230	33.5%
わからない	2	0.3%
その他	9	1.3%

➤ 返済見通し

	実数	構成比
立っている	302	44.0%
立っていない	286	41.6%
返済の必要がない	99	14.4%

➤ 返済計画を立てたことがあるか

	実数	構成比
ある	275	40.0%
ない	319	46.4%
返済の必要がない	93	13.5%

➤ 奨学金を借りていることへの不安

	実数	構成比
漠然とした不安がある	378	55.0%
返済できるかどうか	443	64.5%
結婚への影響	116	16.9%
考えたことがない	67	9.8%
不安はない	90	13.1%
その他	37	5.4%

(3) 収入について

➤ 収入内訳

		0円	1~3万円未満	3~5万円未満	5~8万円未満	8~10万円未満	10~12万円未満	12~15万円未満	15万円以上
仕送り	実数	460	299	171	125	37	13	7	1
	構成比	41.3%	26.9%	15.4%	11.2%	3.3%	1.2%	0.6%	0.1%
奨学金	実数	407	91	231	217	59	37	19	10
	構成比	38.0%	8.5%	21.6%	20.3%	5.5%	3.5%	1.8%	0.9%
アルバイト	実数	288	289	285	238	39	9	2	2
	構成比	25.0%	25.1%	24.7%	20.7%	3.4%	0.8%	0.2%	0.2%
その他	実数	700	52	14	5	0	0	0	0
	構成比	90.8%	6.7%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) アルバイトに関して

➤ アルバイトを週平均どれくらいしているか

	実数	構成比
1-5時間未満	136	11.3%
5-10時間未満	207	17.3%
10-15時間未満	215	17.9%
15-20時間未満	163	13.6%
20-25時間未満	69	5.8%
25-30時間未満	22	1.8%
30時間以上	20	1.7%
していたが、今はしていない	169	14.1%
していない	199	16.6%
総計	1200	100.0%

➤ アルバイトの目的

	実数	構成比
娯楽費を稼ぐため	710	70.9%
生活費を賄うため	602	60.1%
授業料を賄うため	148	14.8%
奨学金が不足しているため	50	5.0%
その他	64	6.4%

➤ 学業への影響

	実数	構成比
ある	383	38.3%
ない	618	61.7%

➤ アルバイトによる学業への影響はあったか

	実数	構成比
睡眠不足で授業に集中できない	254	25.4%
1限の講義に間に合わない	76	7.6%
単位を落としていた	56	5.6%
体調を崩した	185	18.5%
特に影響はない	17	1.7%
その他	61	6.1%

(5) 大学進学について

➤ 進学の目的

	実数	構成比
専門的な知識を身に着けるため	650	54.2%
職業的スキルを身に着けるため	206	17.2%
学歴や資格を得るため	669	55.8%
自分の才能を伸ばすため	114	9.5%
高所得を得るため	102	8.5%
自由な時間を楽しむため	61	5.1%
周りの人が進学するため	61	5.1%
親が進学を勧めたため	34	2.8%
実家を出たかったため	41	3.4%
都会に活きたかったため	6	0.5%
大学生活が楽しそうだったため	87	7.3%
新しい出会いがあると思ったため	48	4.0%
交換留学など海外経験ができるため	29	2.4%
就職しやすいと思ったため	177	14.8%
なんとなく	28	2.3%
その他	20	1.7%

(6) 学費について

➤ 国公立大学の学費は高いと思うか

	実数	構成比
そう思う	381	31.8%
ややそう思う	422	35.2%
あまりそう思わない	279	23.3%
全くそう思わない	49	4.1%
わからない	69	5.8%
総計	1200	100.0%

➤ 国公立大学の学費は、国や自治体ではなく、学生やその親が負担すべきだと思うか

	実数	構成比
そう思う	54	4.5%
ややそう思う	173	14.4%
あまりそう思わない	588	49.0%
全くそう思わない	312	26.0%
わからない	73	6.1%
総計	1200	100.0%

➤ 私立大学の学費は高いと思うか

	実数	構成比
そう思う	1003	83.6%
ややそう思う	147	12.3%
あまりそう思わない	26	2.2%
全くそう思わない	10	0.8%
わからない	14	1.2%
総計	1200	100.0%

- 私立大学の学費は、国や自治体ではなく、学生やその親が負担すべきだと思うか

	実数	構成比
そう思う	200	16.7%
ややそう思う	361	30.1%
あまりそう思わない	388	32.3%
全くそう思わない	171	14.3%
わからない	80	6.7%
総計	1200	100.0%

(7) 奨学金制度に関して

	実数(構成比)	
	知っている	知らない
日本は、先進諸国の中で、大学の学費が高額で、かつ公的な給付型奨学金(返済する必要がない奨学金)制度が少ない	789	411
	65.8%	34.3%
現在、大学生の約3人に1人が奨学金を利用している	628	572
	52.3%	47.7%
奨学金の返済を理由とし、結婚や出産をためらう人も少なくない	727	473
	60.6%	39.4%
奨学金が返済できない場合、親や親族に返済義務が及ぶことがある	962	238
	80.2%	19.8%
令和2年4月から申請受付が開始した高等教育の就学支援新制度がある	433	767
	36.1%	63.9%
利子付き奨学金の利子が何に使われているかを知っている	101	1099
	8.4%	91.6%
奨学金で自己破産することがある	919	281
	76.6%	23.4%
大学院で、貸与期間中に在学している課程で、特に優れた業績をあげることで、奨学金の全額または半額を免除する制度をもつ奨学金事業がある	550	650
	45.8%	54.2%

(8) 奨学金に関する意識や考え方について

- 制度の説明は十分だと思うか

	実数	構成比
はい	321	26.8%
いいえ	460	38.3%
わからない	419	34.9%
総計	1200	100.0%

- 結婚に影響すると思うか

	実数	構成比
はい	606	50.5%
いいえ	298	24.8%
わからない	296	24.7%
総計	1200	100.0%

- 完全給付型であるべきだと思うか

	実数	構成比
はい	719	59.9%
いいえ	263	21.9%
わからない	218	18.2%
総計	1200	100.0%

4. アンケートの自由記入欄に寄せられた声

(1) 学びたい人が学べるような制度にしてほしいと切望している声が上がっています。

【自由記述欄より】

- 学生が学ぶ機会を家庭の経済的事情により妨げることはあってはならないと考えます。若者の将来をより明るくするためにもよりよい奨学金制度の導入を求めます。多くの学生がお金を気にせず学べることは国の発展にも繋がっていくと思います。今後の若者のために新たな取り組みが行われることを期待しています。(国公立4年制大学2年男性・一人暮らし)
- お金がないと教育が受けられない今の現状は将来、社会を貧しくするものだと感じる。教育の充実は学問の発展にも繋がるため、制度をより充実させてほしい。(私立4年制大学2年女性・自宅生)
- 大学の授業料の無償までは行かなくても安くする事はしてほしい。地方の人だと大学の授業料だけでなく、生活費もかかってしまう。正直、それなりの収入がないと奨学金を借りないで進学する事は難しいと思う。(国公立4年制大学2年男性・一人暮らし)
- 優秀な人でも借りた奨学金を返済できず自殺してしまったり、結婚に影響がでること、結果的に日本の未来を担う発展させていく若者が居なくなり、日本が衰退していくと思う。もっと本当に学びたい人が好きなだけ学べる、然るべき場所で勉強に力を入れる事ができる様にすべきだと思う。(国公立4年制大学4年女性・自宅生)
- 人数が多い高齢者のための政策にシフトするのもわかるが、将来の人材育成のために若い世代への政策を増やしてほしい。もっと若い世代に投資してほしい。(国公立4年制大学1年女性・一人暮らし)
- もう少し充実した奨学制度を立てられたらいいと思いました。自分自身、条件に当てはまらず奨学金を取ることができませんでした。親の収入の高低だけで奨学金の有無や値段が確定してしまうのは仕方がないことだと思う一方で、収入が高いからといって生活に困らないとは限らないのも現状だと思います。なので統一させるのは難しいとしても何らかの措置はとっても良いと考えました。(国公立4年制大学1年女性・寮)
- 3人兄弟の学費が重なるため、また自宅外通学の費用をまかなうため貸与奨学金を利用しています。親の収入が一定以上のため、民間を含め給付奨学金はまず使えませんが、一方で親の所得でいくつもの奨学金に採用されてお釣りがくるくらいの給付を受けている学生もいます。私学に通っていますが周りに非課税世帯の友人が多く、私より優雅に学生生活を送っています。一方我が家は学費負担で家計がひっ迫し、両親は

働きづめで収入の額面の割には余裕が全くありません。私も学業と一人暮らしの両立に目処がつけばアルバイトをして生活費の足しにする予定ですが、海外大学院進学を、目指しているのも本来なら学業に集中したいです。学びたい学生には一定の成績条件をつけるなどして、所得制限なく給付される奨学金を希望しています。(私立4年制大学1年男性・寮)

- 家庭環境によって学びを制限されるべきではないが、学びをするためにある程度の努力は必要だと思う。(私立4年制大学2年男性・自宅生)
- 奨学金が家族の所得によって決められるのが不満(国公立短期大学1年女性・自宅生)

(2) 給付型奨学金の拡大を切望している声が多く上がっています。

【自由記入欄より】

- 奨学金と言っているのに、将来それが原因でお金に困るのはおかしいと思うので、そのような事がないような奨学金制度をもっと増やすべきだと思います(私立4年制大学1年女性・自宅生)
- 給付型の制度をもっと増やしてほしい。制限が多すぎて申請しても通らないこともあるため、レベルを下げたい(国公立4年生大学2年男性・一人暮らし)
- 給付型の条件が厳しすぎる。対象がほとんど住民税非課税世帯で、仕送りが完全にたたれている学生にとっては無関係になってしまう。大抵のものが住民税非課税世帯対象のため、本当に困ってる人に行き渡らないのではないかと(私立4年制大学3年男性・一人暮らし)
- 奨学金は完全給付型であるべき(国公立4年制大学2年男性・自宅生)
- 奨学金の申請時に両親の年収によって給付型が受けられるかどうかの基準があるが、給付型を受けられる基準をもう少し下げて欲しい。(国公立4年制大学2年女性・一人暮らし)
- 給付型がもっと広がって学びやすい未来になって欲しいです。(国公立短期大学2年女性・自宅生)
- 給付奨学金の普及が学生の学力向上に確実に繋がる(国公立短期大学1年男性・一人暮らし)
- 給付形奨学金の枠をもう少し広げて欲しい。今回のコロナ禍での学生の生活はかなり厳しい状態。このような場合特別対応手段を望む。学費 家賃 生活費等独り暮らしの学生には死活問題！(国公立4年制大学1年男性・一人暮らし)

(3) 制度に対する説明の機会を充実させてほしいという声が多く寄せられました。

【自由記入欄より】

- 実際に利用する機会がないと、制度について詳しく知ることがないと思った。(国公立4年制大学1年女性・一人暮らし)
- そもそも奨学金というものがどういうものなのかという説明が少ない。日本の学生は身の回りの金銭のシステムに対する理解が不十分であり、私の身の回り・私を含め奨学金は親が手続きのほとんどをしている。そのため奨学金を返すのは学生であるという意識が低い。また、アルバイト先の人も奨学金の理解が希薄なため、面接等で一から説明しなくてはいけない場面があったり、「奨学金があるんだから充分なんじゃないの？」という偏見があったこともある。金銭のことなので学生はもちろん、その他の事業主にも説明が行き届いているとっと学生は生活しやすいと思う。(国公立4年制大学1年男性・自宅生)
- 奨学金の説明を全員に分かりやすく説明してもらえたい(国公立4年制大

学2年女性・一人暮らし)

- 奨学金をもらうための手続きが大変で困ったので、もう少し簡単にしたい。審査があるのは仕方ないので、書類の準備や提出に時間や手間があまりかからないようにしたい。また、3人に1人が利用しているという割に、奨学金に関する情報発信があまりされていないように感じる。学生側から情報を得る必要はもちろんあるが、大学や自治体等からも積極的に発信してほしい。(国公立4年制大学3年女性・一人暮らし)
- 親の収入によって、無利子の奨学金を希望しても、有利子の奨学金にだけ該当して、奨学金をもらえなかったりする友人がいるから、希望する人みんなが奨学金制度をしっかりと理解して受けれるようにしたほうがいいと考える。(私立4年制大学4年女性・一人暮らし)
- もっと奨学金制度についてみんなに知ってもらう機会を持つことが必要だと思います。(国公立4年制大学2年女性・自宅生)

(4) 学費の減額について言及する声が多くありました。

【自由記入欄より】

- 給付奨学金さまざまな段階の枠を増やしてほしい。例えばコロナの影響で収入が大きく減ったがギリギリ奨学金の枠から外れた家庭のための奨学金など。また、コロナによって学校に行っていないのに学費が全く変わらないのには疑問を感じるののできちんとした学費の内訳を学校側が提示してほしい。それが難しい場合は今からでも学費を減らしてほしい。(私立4年制大学3年男性・自宅生)
- 私立大学の学費が高すぎる。かつ、このコロナ禍の中でやはり、学費というよりも諸経費については納得がいかない。(私立4年制大学1年男性・一人暮らし)
- 学費下げろ、下がらん理由があるならちゃんと説明しろ(私立4年制大学3年男性・一人暮らし)
- 学費については議論する必要があると思います(私立4年制大学3年男性・一人暮らし)
- 学費が高すぎる。現在コロナでリモートにもかかわらず学費が減額されないことに納得がいかない。大学に行くのが当たり前の今日に高校のように授業料の無償化を検討してほしい。学ぶための大学のはずが、学費や生活費のためにアルバイトばかりで、それが出来ないのは理不尽だと思う(私立4年制大学1年女性・一人暮らし)
- 授業料が高額なのに加えて、返済義務があり、社会人1年目から相当な借金を背負っている為、奨学金の無償化とまでは言わないが、授業料の減額を求める(国公立4年制大学4年男性・自宅生)
- コロナで十分な教育、授業が受けられなかったので、授業費用を返すべきだと思う。(国公立4年制大学1年・寮)

以上